

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	大堀川1号雨水幹線整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	下水道建設課			
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東初石・美田地域の住民	意図	雨水幹線整備を行い浸水被害を解消する。
事業内容	計画降雨に対する雨水排除能力を向上させることにより浸水被害が解消され、安心して安全な住環境を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度に基本計画を策定。平成27年度は事業認可取得。平成28年度は実施設計委託を実施した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	設計業務委託成果	1	0	1	業務
②	雨水幹線整備率	0	0	0	%	↑↑↑	整備済延長÷全体整備延長(430m)
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・基本計画に係る業務委託が完了した。 ・平成27年度は、他事業に含めて、事業認可を取得したため、本事業として業務は発生しなかった。 ・平成28年度は、実施設計業務を実施した。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,084,000		21,166,100			
事業費(b)(円)		6,264,000		17,733,600			
うち一般財源		6,264,000		4,733,600			
職員給与費(c)(円)		13,820,000		3,432,500			
人役・職員(人)		2.00		0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	・平成29年度からの工事発注に向けて実施設計業務を実施する。	③取組の課題	・幹線ルートを変更したため、詳細な既設水路との分流、合流部が増えたため、構造について詳細な検討が必要になる。
②今年度(H28)に実施した取組	・実施設計業務を実施した。	④今後の改善計画	・平成29年度以降の工事着手に向けて、他事業、地元との調整を行う。